



R I 会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

3月18日(金)のプログラム

・卓話：猪瀬友吉氏

『戦場における我が青春』

本日(3/25)のプログラム

・卓話：手塚明宏会員

今後の例会プログラム

・4/1(金)関正巳 会長エレクト

P E T S 報告

・4/8(金)ゲスト卓話

勝浦警察署長 遠藤順一氏

・4/15(金)クラブフォーラム

会員増強委員会

・4/22(金)会員卓話

・4/29(金)祝日のため休会

会長挨拶 関一憲会長

先週の例会直後に東北関東大震災が発生いたしました。会員の皆様におかれましては、被害を被った人もいらっしゃると思います。心よりお見舞いを申し上げます。と共に、通常通り、皆様とこの場に集まり例会を開催できることに感謝いたします。

日本は国難から何度も立ち上がっています。今日本中でたくさんの優しさや思いやりが溢れています。幾つかをご紹介します。

* ディズニーランドでの出来事

ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって「何だ？」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子供たちにお菓子を配っていたところ見て感動。子供連れは動けない状況だったから、本当にありがたい心配りだった

* 国連からのメッセージ

国連からのコメント「日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。」に感動した。良い事をしたら戻ってくるのです。これがいい例なのです

(つづき... 3頁目に掲載)



幹事報告 中村満幹事

ガバナー事務所から社会委員長あてに、東北地方太平洋沖地震災害義捐金のお願いがきています。

ガバナーより、会長エレクト研修セミナー開催日変更の案内がきています。・・・4月10日に変更

館山RCの創立55年記念式典が中止となりました。登録料は返金してくれるそうです。

同じく館山RCより、例会の変更がきています

4月6日(水)例会場が館山商工会議所に変更(例会場ホテルの都合)

4月20日(水)が17日に変更(例会場ホテルの都合)

館山ベイRCよりIM特別講演が4月2日から9月2日に変更

緊急のお知らせにも拘らず会員皆様の支援、ありがとうございました。

例会あと緊急理事会があります。以上です

【緊急臨時理事会】

決定事項報告

東日本大地震の災害義捐金に100万円送金することに決定



委員会報告

国際奉仕 / 村石愛二 委員長

ニュージーランド地震への義捐金寄付を会員の皆さんにお願いしましたが、多くの方々（32名）からご協力をいただき、合わせて63,000円になりましたので、地区へ送金いたしました。皆さんの温かい心は、きっと南半球の人々の励ましになると確信します。なお、交換留学生としてニュージーランドにお世話になった西川会員のご子息より多額の寄付があり、これも会員からの分に含めさせて戴きました。ご協力有難うございました。



ニコニコBOX (中村昇親睦委員長)

配偶者誕生日 関祐介 君 結婚記念日 中村昇 君



自主申告 古川範男 君

仙台にいる娘が九死に一生を得て、何とか無事に脱出して、今我が家で共同生活しております。世界が日本をどう見ているか？普通、こういう災害があるとパニックや略奪が起きるもの。しかし日本ではみな整然と行動している。これを『日本は経済が低迷し、政治家の失態に国民の大部分は当惑しているが、日本の産業力は依然として偉大だ』『日本人の忍耐力や冷静さ、秩序が実に高潔だった、今後それが示されるだろう』と世界のマスコミから評価されている。日本の底力が試される時です。一緒にがんばりましょう。



退会の挨拶 関祐介 君

3月25日付けで移動内示が出まして本日が最後の例会になります。2年間という短い期間でしたが、私のような転勤族を仲間に加えていただき、心から感謝申し上げます。勝浦RCにお世話になっての2年間は、仕事でもプライベートにおいても、本当に濃密でした。・・・私達も出会えたことに感謝します。有難うございました m(_ _)m



卓話者紹介 鈴木覺三郎 君

猪瀬友吉氏をご紹介します。東京浅草で生まれ、現在満90歳。勝浦市芳賀在住。千葉師範学校（現在の千葉大学教育学部）を卒業され、小学校教員になりましたが、福井県の陸軍に入隊。1週間で満州牡丹江省にある第九師団歩兵第十九連隊に入隊。戦後は船橋宮本柏第四小学校、千葉県教育庁指導主事、特殊教育センターに勤務されておりました。2004年に「戦場における吾が青春」を出版。



ゲスト卓話：猪瀬友吉氏「戦場における吾が青春」

終戦後、長い間戦争、軍隊生活について話をしなかった。戦陣で倒れていった多くの先輩や同僚たちの事を思うと胸がいっぱいになり涙が出て、語ることが出来ないような精神状態が長く続いた。然し考えてみると自分も年令的に残り少なくなってきた。青春時代の五年間戦争に参加し、どんな気持ちでどんな生活をしていたのか子や孫達のために記録して残しておきたいと考え、筆をとることにした。



(猪瀬氏執筆『戦場における吾が青春』の前書きより抜粋)

卓話 太平洋戦争は侵略戦争のように言われていますが、侵略なんて気持ちはなく、大東亜共栄圏づくり。最後に敗色が強くなると、本土防衛のためになった。

幹部候補生として習志野学校に入学、12月8日開戦。動員下令、サイパンに向かうが行けず沖縄に着く。沖縄軍は1日でも長く持たせてくれ、というのが命だった沖縄の頭上を飛んでいく特攻は別れの挨拶をしていく。最後は九州薩摩半島で防衛を行った。8月15日の終戦で軍司令官の訓示をいただき、最後の指揮を私がとって、敬礼をして終わりました。米国軍は人命尊重が徹底していて敵国ながら考えさせられることが多くありました。こうして戦争の話をするのが、亡くなった仲間の供養であり、私の役目だと思っております。

出席報告 3 / 18 (金) 出席委員会 (関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
40名	28名	4名	8名	80.00%

欠席者：浅野玄航 高橋奈緒美 高山裕紹 前田安彦 林重利 吉野裕子 渡邊保 内田秀実

会長の挨拶『今日本中に溢れる優しい心』のつづき...

* **段ボールに感動** ホームで待ちくたび

れていたら、ホームレスの人達が寒いから敷けて、段ボールをくれた。いつも私達は横目で流してるのに。温かいです。

* **外国人から見た日本人** 物が散乱して

いるスーパーで落ちているものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。

* **BBCの報道** 地球最悪の地震が世界で一番準備され訓練された国を襲った。その力や政府が試される。犠牲は出たが他の国ではこんなに正しい行動はとれないだろう。日本人は文化的に感情を抑制する力がある。

* **日本ってすごい** 官僚も民間も、皆で助けようとする。トラックの運転手も有志で物資運んでるらしい。東北の交通整備をヤクザさんがやってるといった話も聞いた。最近、日本に対して誇りを持ってないことが続いていたけれど、そんなことない。素直に感動してる。日本国の皆さん頑張ろう！

* **ローマから** ローマの友達からのメール『ローマの人々はニュースを見ながらこのような状況でも冷静に対処する日本人に感動し、尊敬の念を覚えながら、非常に心配している』

* **声をかけること** 裏の家の高1になるお兄ちゃんに感動した。家に1人で居たらしく、地震後すぐ自転車で飛び出し近所をひと回り。【大丈夫ですか！？】と道路に逃げてきた人達にひたすら声掛けてた。あの時間には老人や母子しか居なかったから、声掛けてくれただけでもホッとしたよ。ありがとう。

* **開放** 昨日、歩いて帰ろうって決めて甲州街道を西へ向かっていて夜の21時くらいなのに、ビルの前で会社をトイレと休憩所として解放してる所があった。社員さんが大声でその旨を歩く人に伝えていた。感動して泣きそうになった。いや、昨日は緊張して泣けなかったけど、今思い出してないてる。

* **献血の列** 日本は強いです！大阪難波の献血施設は被災地の方の為に超満員の順番待ちでした。私欲の無い列を初めて見て、感動しました。被災地の方々、全国でその辛さを受け止めます。諦めずに頑張ってください！



* **買うのやめるわ** バイト先に軍団でお酒を買いに来た若いお兄さんが「やべえ、オレお酒の分しかお金持ってきてないから募金できん。ちょっとこれ買うのやめるわ」と言って商品返品してそのお金全部募金してた。お友達も続々と募金しててすごい感動した。*

* **いつでも買える** 今日、募金箱に金髪・ピアスの若い兄ちゃんが万札数枚入れていた。そして友人に「ゲームなんていつでも買えるからな」と言っていたのが聞こえた。人は見た目じゃないことを実感した。

* **充電されたい方は**・・避難所にいたときに、社会人1年生で、研修でこっちに来てた女の子が、たまたま携帯のバッテリーも持参してたらしく、体育館のコンセントを使用する許可ももらい、「携帯の充電をされたい方はご自由につかってください」と呼びかけて回ってたんだ。僕はその子にとても感動したんだよ...

1日でも早い復興をお祈りいたします。(関一憲会長)



水産業者らが救援物資運送

勝浦で協力の輪

勝浦市内で、被災地に毛布や粉ミルクなどの救援物資をおくる取り組みが始まった。被災地の宮城県や福島県などの水産業者と取引が多い水産卸業「西川」が呼びかけている。

呼びかけには市旅館組合、市民宿連合会、勝浦ロータリークラブなどが協力し、布団、衣類、おむつなども集まった。軽自動車に満載した物資を提供した店主は「少しでも困っている人の役に立てば嬉しい」集まった物資は道路事情や燃料確保を考慮しながら、大型トラックで福島県いわき市方面に近く運ばれる予定という。